

環境学習フィールド(3)は平成26年9月に、拡張部-1は平成28年12月に完成しました。川からのながれこみはなく、地下水や雨水で池の水がたもたれています。池のまわりには、ヨシなどの湿地に生える植物やオギなどの草地に生える植物などが一面をおおい、さまざまな生きものが生活しています。

環境学習フィールド(3)と拡張部-1のいきもの



どんな場所に、どんないきものがいるか、探してみよう!



ラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」※

ラムサール条約は、正式には「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」という名称であり、1971年にイランの北カスピ海をのぞむ町ラムサールで結ばれたので、ラムサール条約とよばれています。日本は1980年に加入しています。ラムサール条約に加入する国は、国内の国際的に重要な湿地を登録して、保全や利用を考えていきます。渡良瀬遊水地は、2012年7月3日に登録されました。渡良瀬遊水地は、広大なヨシ原が特徴的で、ヨシ焼き※やたまった土の掘りとりなどをおこなって、たもたれてきています。

※遊水地：遊水地は大雨などで川の水が急に増えたとき、その一部をためて下流に流れる量を少なくする役わりをもっています。渡良瀬遊水地は、面積33km²の遊水地で、昭和37年度より運用が開始されています。

※ヨシ焼き：渡良瀬遊水地では3月下旬におこなわれ、地域にとっても毎年ふうぶつしの風物詩となっています。春にヨシを焼くことで、春に多くの植物がめばえます。また、木が生えるのを防ぎ、湿地の状態を保つことにも役立っています。



貴重な生き物や面白い生き物がいっぱい!

◆渡良瀬遊水地のコウノトリ

コウノトリは、かつては日本で普通に見られた鳥でしたが、明治時代以降らんかくの乱獲と農業の影響などで1970年代に絶滅ぜつめつしました。

渡良瀬遊水地では、千葉県野田市で放された「ひかる」(おす)、「きずな」(おす)が飛来し、環境学習フィールド(3)や拡張部-1で、えさをとっているところが見られました。コウノトリはドジョウなど魚やカエル、ザリガニ等をえさにしています。



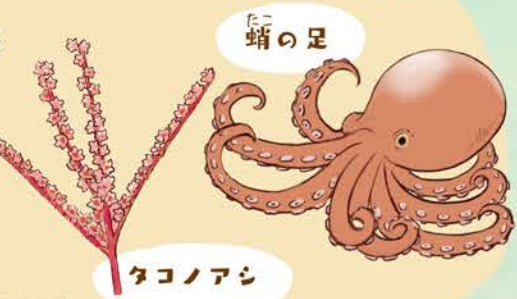
コウノトリと似ている鳥たち

渡良瀬遊水地では、コウノトリのほかに、ダイサギやアオサギといった、コウノトリに似た形の鳥が見られます。この中で、コウノトリが一番大きく、はねの色がはっきりとした白と黒、くちばしが黒、足が赤という特徴があるので、ほかの鳥たちと見分けることができます。

植物「タコノアシ」の名前の由来

タコノアシは、高さ50～90cmの多年草※で、秋になると全体が赤くなり、たくさんの小さい花が吸盤きゅうばんのように並び蛸たこの足のように見えることから、名づけられました。

※多年草：何年かにわたって生存する植物のこと。



テントウムシいろいろ 環境学習フィールド(3)と拡張部-1には、さまざまなテントウムシが見られます。星の数、大きさに注目して探してみよう。



ヨシ原のハンター、チュウビ

渡良瀬遊水地には、冬にやってきて、ヨシ原にねぐらをつくり、ネズミなどをつかまえてえさにしています。ヨシ原を低空で飛んでいる姿が見られるかもしれません。



“ワタラセ”を名に持つ生きもの

渡良瀬遊水地では昆虫のワタラセハンミョウモドキと植物のワタラセツリフネソウが見られます。名まえにワタラセとつきますが、渡良瀬遊水地でもなかなか出会えない生きものです。



“カマ”をもつ昆虫

肉食昆虫の代表であるオオカマキリは、カマでバッタなどの昆虫類がおもなえさです。水生昆虫のミズカマキリやタイコウチ、タガメも、似たようなカマを持っていて、水生昆虫やオタマジャクシ、ときには魚やカエルなど、自分より大きな生きものもつかまえて食べることがあります。



いきものさがしのポイント

冬 春
秋 夏

ダイサギ
水辺をゆっくりと歩き魚を探す。

アオサギ
魚やカエルなどを食べる。

コウノトリ
エサは魚、カエル、ザリガニ、小動物など。長距離移動するため見られないことも。

ハイロチュウヒ
チュウヒより白っぽく、数はすくない。冬鳥。

チュウヒ
ネズミなどの小動物をつかまえて食べる。冬鳥。

ツバメ
夏から秋にかけてねぐらに集まる。夏鳥。

オオヨシキリ
「ギョギョギョ」と大きな声で鳴く。夏鳥。

アオゴミムシ
体長約14mm。はねはあるけど飛べない。

イタチ
体長は20～30cm。

あしあと
人に突進してくることがあるから注意。

コウノトリ人工巣塔

カルガモ
水面に浮かんで植物のたねなどを食べる。冬に多くなる。

タイコウチ
水中にいてオタマジャクシ等を食べる。

ミズカマキリ
タイコウチより細く、カマキリに似ている。

ワタラセツリフネソウ
高さ50cm～100cm。9～10月に赤紫色の花が咲く。

チョウジソウ
高さ40～80cm。4～6月頃に花が咲く。

コチドリ

環境学習フィールド(3) 拡張部-1

深場

浅瀬

ヨシ・オギの草原

アキアカネ
夏は涼しい高山へ移動し、秋に山をおりる。

トゲヒシバツタ
体長約18mm。目立たないが湿地に多い。

カイツブリ
水面に浮いているように見える巣をつくる。一年中みられる。

メダカ
尻びれが四角形になっているのが特徴。

モツゴ
別名クチボン

アジイトトンボ
体長約30mm。池のまわりの草にとまっている。

ヨシ
高さ2～4m。穂の色はむらさき色。

オギ
高さ2～4m。穂の色は白色。

ナナホシテントウ
背中に黒い斑点が7個。

ジュウサンホシテントウ
背中に黒い斑点が13個。

ヨシ原

キンクロハジロ
水中にもぐって貝、エビ、昆虫などを食べる。冬鳥。

ヒメケブカチヨツキリ
体長約4mm。全身に毛があり、体色は光沢のある青色。

観察ポイント

タゲリ
頭にピンとはねた羽がある。冬鳥。

ヌカエビ
体色は褐色か緑褐色。

アメリカザリガニ
体長約10cm。元々は食用ガエルの餌として輸入された外来種。

トウキョウダルマガエル
「グゲゲ、グゲゲ」という泣き声。

ノウルシ
菜の花のような黄色い花を咲かせる。茎を切った所から出る白い液体はかぶれることがあるので注意。

階段

観察小道

タコノアシ
高さ50～90cm。秋頃に全体が赤くなる。

生井桜つつみ

セイタカアワダチソウ
高さ1.25m。観賞用などで輸入された外来種。秋に黄色い花を咲かせる。

トネハナヤスリ
花は咲かない。利根川沿いは主な産地。

◆◆ 観察するときの注意 ◆◆

☆貴重な生態系を守るために、生きものを傷つけたり持ち出したりしないようお願いします。

☆ごみは持ち帰りましょう。

☆危険な生きものもいます。イノシシ、スズメバチなどに気をつけましょう。

☆池の中やまわりは滑りやすいので、ゆっくり気をつけて歩きましょう。

☆アメリカザリガニ、セイタカアワダチソウ等は、本来、日本にいない生き物で人間によって持ち込まれました。渡良瀬遊水地でも生態系に悪い影響を与えることが心配されています。